

播但連絡道路の大規模修繕等に関する有識者会議（第3回会議）

議事概要

1. 日時 令和元年11月12日（火）13:00～15:00
2. 場所 兵庫県民会館 10階 福
3. 出席者

[委員] (◎は会長)

小池 淳司 <small>こいけ あつし</small>	神戸大学大学院工学研究科 教授
◎佐竹 隆幸 <small>さたけ たかゆき</small>	関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授
佐藤 久美子 <small>さとう くみこ</small>	特定非営利活動法人 Lazo 代表
原田 真理子 <small>はらだ まりこ</small>	姫路商工会議所 女性会 会長
森川 英典 <small>もりかわ ひでのり</small>	神戸大学大学院工学研究科 教授

[アドバイザー]

磯部 良太 <small>いそべ りょうた</small>	国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所長
松本 崇 <small>まつもと たかし</small>	西日本高速道路株式会社 関西支社 総務企画部 企画調整課長

※敬称略、五十音順

4. 議事 (1) 第一回・第二回会議における主な意見
(2) 大規模修繕・橋梁耐震の進め方
(3) 必要となる資金確保のあり方
(4) 留意事項
(5) 提言骨子（案）

5. 議事概要

〈委員等からの主な意見〉

1 大規模修繕・橋梁耐震の進め方

- ・ 判定区分Ⅱ（予防保全）の対策をしっかりとっておかなければ、いつまでも判定区分Ⅲ（早期措置）の対応に追われてしまう。予算をきっちりとして計画通りに確実に実施していかなければならない。
- ・ 無料化後、悪い状態で県に渡して税金で直すのか、あるいはお金の掛からない改善した状態で渡すのか、償還時の目標値を考えておくことが必要。
- ・ お金の取り方と、メンテナンスの方法は全く別の議論で、とにかく播但道を未来永劫存続させるということを前提に置かなければならない。
- ・ 市民としては、道路は無料で安全が1番の願いであるが、もっと市民に周知していただき理解を求めることが大事だと思う。
- ・ 修繕をしながら道路を維持していくことを考えると無料化は少々先送りも仕方ないと思う。そのためには料金を取り続ける理由の周知をしっかりともらいたい。
- ・ 中長期的なことを考えると道路は維持していかなければならないし、それが地域の方々の足になる。
- ・ 道路を無料にするということは出来ないことはないが、そうすると中長期的にはこの道路は廃止せざるを得ない状況になって、そうなると地域間格差がますます広がっていく。
- ・ 道路は老朽化していくものであるが、土工や設備等については通常の維持管理費で十分なのかどうか言及した方がよい。
- ・ 大規模修繕、橋梁耐震対策ともに、結構なボリュームであり、計画的に進めなければならない。
- ・ コスト縮減ということも踏まえながら考えていただけたらよい。

2 必要となる資金確保のあり方

- ・ 今後人口が減少していき衰退していくなら、早めに料金を取って、後世に負担を残さないという考えもある。
- ・ どういう体系でお金を取っていくか、国交省の制度を含めて変えるくらいのことをやっていかなければならない。

- ・ 延長するにしても値上げするにしても。現状をもっと知ってもらう必要がある。
- ・ 値上げすると利用者が減るかもしれないので、値上げして衰退するよりも長く愛される道路になることが大事かと思う。
- ・ 値上げすると消費税と一緒にしばらく交通量が減退する可能性はあるが、無料化の延期というのは日常の中なのでそんなに影響はないのではないかと思う。
- ・ 現時点では、この2つの考えで進めていくことになるのではないかと思う。

—以上—